

活動名 子供への居場所提供	団体名	食べて語ろう会
	地域	広島県広島市
	代表者	会長 田村 美代子
	支援金額	24万円
活動概要		
<p>親が薬物依存症になったり、貧困等劣悪な家庭環境に置かれた子どもたち。その多くは、学校にも家庭にも居場所がなく、万引きや暴力等の非行に走るケースも多い。この会では、そのような子どもたちに手料理を振る舞い、地域の力で受け入れ、居場所を提供する活動をしてきた。</p> <p>手料理をふるまうことで、子どもたちに「家庭のぬくもり」を感じてもらい、非行を防止して子どもたちの健全な育成を目指す地域活動である。</p> <p>◆実施時期 ①「食べて語ろう会」 毎月第1・第3日曜日、午後3時～午後8時 広島中央公民館2F ②ほぼ毎日、夕方～ 元保護司 中本忠子宅(広島市中区基町)</p> <p>◆参加人数 ①「食べて語ろう会」 毎月第1・第3日曜日 約25～30名×2回×12か月=720名 ②元保護司 中本忠子宅 約6名×300日=1,800名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 2,520名</p>		



みんなで和気あいあいと！！



性教育も熱心に聞いています



少年達も調理を手伝います

◆実施に伴う効果

この活動により、子どもたちの非行(万引きや暴力行為)は無くなり、確実に良い方向に進んでいる。「食べて語ろう会」の活動が「ばっちゃん引退」というタイトルで、平成23年の1月にNHKのローカル番組で、平成23年7月には全国放送で紹介されてからは、反響が大きく、是非とも同じような活動をしたいとの話が沢山来ている。

◆苦勞した点

予算の問題

「食べて語ろう会」の参加人数が増えて、毎回25名～30名と増加しているため、食材費のやりくりで苦心している。また、調理するスタッフも5人ぐらいと人員が不足している。

参加者

この活動を始めた当初は、地域の子どもたちが対象であったが、最近では、中区のあちこちからをはじめ、東区、南区、西区、安佐南区や五日市、廿日市の子どもたちもやってきて、かなりの広範囲から参加してきている。

◆今後の課題・発展の方向性

この活動の参加者も増え、どんどん規模が大きくなるにつれて、場所の問題やスタッフの人員不足、スタッフの高齢化等の課題が出てきた。そして、大きな課題は、何と言っても予算不足である。また、「食べて語ろう会」とともに、「小・中学生の勉強会」も実施中であるが、学校からの要望もあり、大学生のボランティアをお願いして、規模の拡大を考えている。

◆活動を終えての感想・意見等

平成22年11月、平成23年1月、平成23年7月と、NHK総合テレビでこの活動が放送されて以降、大変大きな反響を得ている。

これも偏に「マツダ財団」からの助成があったからこそと、心から感謝をしています。

明日を支えていく少年たちが、非行に走らぬよう、健全に育成していくために、私たちは地域の力としてこれからも頑張っ活動していきたいと思っています。